

週間漁海況情報 2022年第4号

令和4年1月25日発行

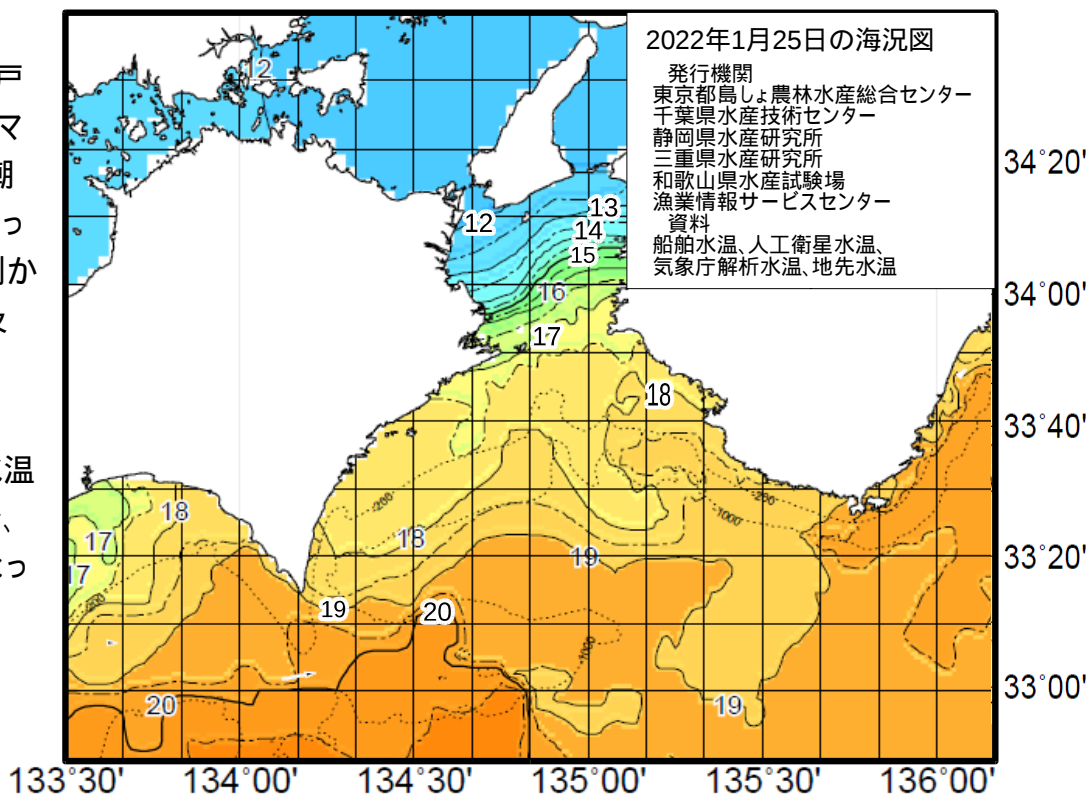
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖102マイル、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」となっている。このため、室戸岬側からの海部沿岸への暖水波及は弱まった。

黒潮の表面水温は20～21台。徳島周辺海域の表面水温は、紀伊水道が11～16台、海部沿岸が16～18台となっている。



黒潮の離接岸の表現

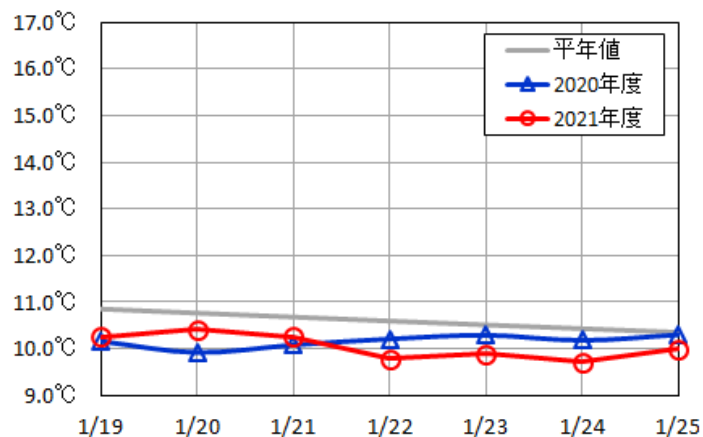
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

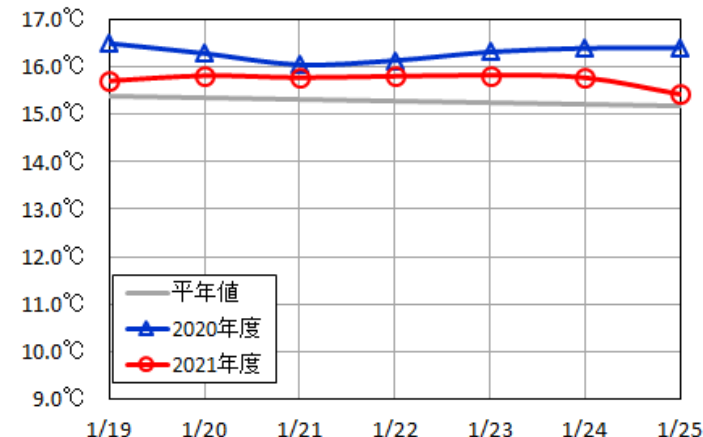
2. 地先水温(1月19日～1月25日)

鳴門地区の水温は10.8～9.5 で「平年並み」から「やや低め」、日和佐地区は15.8～15.4 で「平年並み」から「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は5.4～6.1 に拡大した。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(1月26日～2月1日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや低め」、日和佐地区は「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (1月17日～1月23日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

釣りでは、サワラが大きく増えて0.3ト水揚げされた。
 延縄では、ブリがめじろ級主体に0.9ト、サワラが大きく減って大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが大きく減って0.7ト、イサキが大きく増えて大主体に0.4ト、ブリがめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、コウイカが大主体に2.3ト、シリヤケイカが大きく増えて0.9ト、えそ類が0.5ト、ハモが増えて中主体に0.4ト、いとより類が減って0.3ト、ヒラメが0.2ト、マダイが0.2ト水揚げされた。
 釣りでは、タチウオが増えて3.4ト、カツオが減って特大主体に1.1ト、ブリが増えてめじろ級主体に0.8ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、ブリが大きく増えて大主体に0.9ト水揚げされた。
 小型定置網では、カタクチイワシが0.3ト、メジナが大きく減って0.3ト、ムツが増えて小主体に0.2ト水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが減って豆あじ主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	釣り	18	サワラ	325	18		
	延縄	32	ブリ	919	29	めじろ級主体	→
		20	サワラ	269	13	大主体	
	小型定置網	17	マアジ	661	39		
		6	イサキ	416	69	大主体	
		16	ブリ	291	18	めじろ級主体	→
	底びき網	37	コウイカ	2,311	62	大主体	→
		29	シリヤケイカ	917	32		
		33	えそ類	470	14		→
		25	ハモ	365	15	中主体	
		28	いとより類	319	11		
		31	ヒラメ	241	8		→
		24	マダイ	204	9		→
海部沿岸	釣り	34	タチウオ	3,370	99		
		52	カツオ	1,061	20	特大主体	
		27	ブリ	786	29	めじろ級主体	
	延縄	2	ブリ	914	457	大主体	
	小型定置網	10	カタクチイワシ	282	28		→
		12	メジナ	275	23		
		10	ムツ	248	25	小主体	
大型定置網	1	マアジ	289	289	豆あじ主体		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: